

2022年(令和4年) 8月 17日(水) 第6例会(通算2942回)



国際ロータリー第2580地区

石垣ロータリークラブ週報

2022-23年度 ◆クラブ会長テーマ◆ 「八重山の未来のために行動しよう」



イマジンロータリー

2022-23年度 RI 会長テーマ
RI 会長: ジェニファーE. ジョーンズ

地区ガバナー: 嶋村 文男

◇ ガバナー信条 ◇

“Take Action for Rotary Future”

“Reach Out for World Peace”

“ロータリーの未来のために行動しよう”

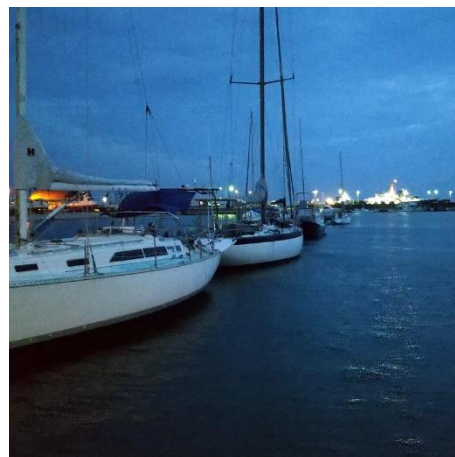
“世界の平和のために手を差しのべよう”

今月のロータリーレート 1\$¥133

島の水景 ~石垣島の水散策~

【石垣漁港】

昭和43年に埋め立てた行政区域「新栄町」に開港。新川漁港とも称されます。旧暦5月4日にはハーリー(爬龍船競漕・海神祭)が開催され、海の恵みに感謝し航海の安全と豊漁を祈願するウミンチュ(漁師)たちの祭りとして盛り上がります。最近では、港湾も整備されヨットなども停泊できるようになっています。



8月のプログラム

8/17(水)ゲスト卓話

8/24(水)会員卓話

8/31(水)ゲスト卓話

ガバナー補佐: 仁開 一夫 会長: 大浜 勇人 副会長: 前原 博一

幹事: 松田 新一郎 副幹事: 今西 敦之

公共イメージ委員長: 山下 暢 SAA・出席委員長: 大本 綾子

例会日 水曜日 12:30~13:30
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
TEL/FAX(0980)83-2917
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

☆総会員数:53名(名誉会員2名・出席免除会員2名)
 ☆出席義務会員数:49名
 ☆出席人数:27名 欠席人数:22名 出席率:55.10%
 <<司会進行:大本 綾子>>
 ☆ロータリーソング:君が代 □ロータリーの目的
 ☆ピシター:林 秀一様(那覇南RC会長)
 ☆メイクアップ:小林 昌道 宮良 榮子

会長挨拶
大田 勇人



皆さん、こんにちは。週報にもありますが、先週的那覇RCのところで所属している那覇ローターアクトの年次総会に参加してまいりました。ローターアクトとは、20歳から35歳くらいの方々が集まって活動しているクラブで、ローターアクトクラブという組織です。勉強がてら年次総会に参加して参りました。総会の次の日に、うみそら公園の方でローターアクトクラブが清掃活動を企画していましたので、そちらにも参加して参りました。それから、ガバナー月信の最後から2番目のページに、2022年6月の会員数が出ております。当クラブは、沖縄分区のなかで2番目の規模になっていて会員数51名です。那覇RCと那覇西RCが下がったということで3位から2位に繰り上がっております。昨日、飛行機に乗った時に、たまたま那覇南RCの林会長と会って、ライン交換しましたら、飲みのお誘いがあったので、松田幹事と3人でたくさん飲んでしまいました。楽しい時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。今日は、大田さんの卓話ということで楽しみにしています。eスポーツとはゲームの競技の世界だと私は認識しています。本日は、よろしく願いいたします。

☆幹事報告・松田 新一郎 ☆

本日は4点ございます。世界平和の鐘の会についての会員加入について、このまま継続で対応いたします。石垣市社会福祉協議会の特別会員の加入も継続といたしました。台北大同RCとの姉妹締結の更新について、こちらはすでに姉妹締結の期限が切れていまして、台北大同RCと協議した結果、引き続き姉妹クラブの締結をいたしますが、先方から書面を送っていただくことになっています。台湾の隔離が3日間あるようなので、これが解けたら会長と私で行けるタイミングで書面を取りに行ってもいいかなと考えております。ポリオデーの募金活動について10/23に開催するという決まりました。詳細については、委員会が協議して取りまとめているので、会員の皆様に

は改めてご報告したいと思います。Tシャツ購入がまだの方はまだ購入できますので、ぜひ皆様に購入して頂きたいと思っております。度重なるお願いですが、ロータリーの目的がラミネートされておりますが、持ち出し禁止となっております。例会が終わったらそのままテーブルに置いておくようお願い致します。

☆委員会・会員からの報告 ☆

新川正人プログラム委員長:8月のプログラムについての詳細は、事務局の方から流して頂きます。9月7日に夜間例会を予定しています。ゲスト卓話として京都大学の経済博士の吉原清嗣様、こちらの方は仁開さんからご紹介頂いております。こちらの方の卓話と夜間例会を予定しております。プログラムの時間帯については、細かく整理しましてご案内いたしますので、宜しくお願い致します。

☆会員卓話:大田 次男氏☆
(NTT 西日本沖縄支店八重山営業所長)

☆テーマ:eスポーツの紹介 ☆

今日は、eスポーツの概要を紹介いたします。ご存じの通りエレクトロニック・スポーツの略です。電子機器を用いて行うゲームです。競いあう競技で、電子的な競い合いで、戦う相手はマシンではなくて人であり、人と人が競うための仲介をすることです。媒体としてエレクトロニックを使うのがeスポーツというような解釈でいいのなと思っております。オンラインでの対戦も、もちろんeスポーツという解釈になります。国内、海外でさまざまなスポーツイベントが行われているということで、海外の動きとしては、16歳の少年が優勝して総額3億2600万円を手にした、そういった大きなビジネスになってきています。今後、国内でもいろんなシーンでeスポーツの取り組みが組み込まれていくことだと思います。国内の大会例としては、全国高校eスポーツ選手権大会とかがあります。国内の大会例のステージゼロとかは、コカ・コーラやサイバーエージェントとか、国内大会も結構大きなスポンサーがいろいろとバックには付いて大会を行っているということです。海外的には、音楽フェスとeスポーツが合わさったイベントとかで相乗効果を上げて盛り上がっています。都市で行うアーバンスポーツとeスポーツを合わせたフェスもあります。スケートボード、ボルダリングやマウンテンバイクとかを使ったアーバンスポーツとエレクトロニックを使ったeスポーツを合わせてやるフェスが海外では人気が出て来ています。それからeスポーツは年齢や性別、障がいの垣根を超えるということで、ダイバーシティ時代の新しいスポーツと考えられているこ

とも特徴的になります。エイジレスですから、お年寄りのおじいさんと孫、親と子供と一緒に同じゲームを楽しむことができコミュニケーションが達成されるというようなこともあり、歳には関係なく楽しめます。身体の可動可能な部分を使って意思表示ができるので、身体、ハンディを超えた健常者との競い合いもできます。あとは、ジェンダーレスですね。男性、女性、筋肉力等の差が有ってもできるので、そこも分け隔てなく一緒にできます。あと特徴的なのは、場所や時間を問わずに、国内外との交流ができます。私たちNTTがやっているのも場所や時間を問わないのでインターネットを利用して遠隔地と交流をやっていっている状況です。eスポーツの始まりから現在までの簡単な年表ですが、2000年ごろから海外の大会が開催されていますが、2018年を堺に日本でも競技団体が設立されています。近年では、自治体の主催で企業の協賛もどんどん増えて大会があちらこちらで開催されています。沖縄本島でも、観光協会が主催者となりながら少しずつではありますが浸透していています。eスポーツを取り巻く環境～国内の人口推移～20代、30代の男性を中心に展開されています。7割が男性で、ファンの数もグンと上がっています。それに比例して、これに関係するビジネスも拡大していています。これまでのメディアでは届かなかった若者世代に対して、eスポーツが最適な手段だと企業・自治体などが考え始めています。これは何を言っているかという、これまでのメディアというのは新聞やテレビ等がありますが、若者はもう新聞やテレビは見ません。スマホ・YouTube・SNS、そういったものしかも見なくなっている。そこに企業というのはコマースシャル等を届けるために、eスポーツのスポンサーになることによって、ここに集う若者たちに対していろんな情報を各企業が発信することができます。2022年で127億、あと3年後には700～800億とかになる市場規模です。これまでeスポーツに関わってきたプレイヤー以外にもさまざまなプレイヤーが、それぞれの方法で参入し始めています。自治体の取り組みでは、街興しや産業観光振興、高齢者福祉利用などに。異業種企業の参入では、さまざまな業種からのスポンサーの増加、DENSO、カップヌードル、サントリーなど。リアルスポーツ連動では、ソフトバンクなどのプロスポーツチームが参戦してきています。企業/学校内ではeスポーツクラブ、社員や学生などの活動を企業や学校が公認しています。ビジネスとしては、eスポーツ

を展開するにあたり、どのような展開になるか、どういった経済効果があるかという、例えばeスポーツをするにはパソコンを購入する必要があります。パソコンには着席しないとイケないので、スポーツ用のイスが必要になります。それに関係するツールがどんどん広がっていきます。大会をすれば、海外から人を呼ぶこともできるし、ホテルにそういったブースがあれば、観光客もゲームができます。特に石垣島や沖縄本島は台風銀座と言われていています。台風の時、外に出られない時に、宿泊施設のなかにそういったゲームが出来れば少しは観光客も外に出られない分、ゲームを楽しむ切り返しができるればいいかなということと、またホテルの方にも新たな仕事が増えてくると思います。海外の事例になりますが、地方都市の活性化では、ポーランドが斜陽の炭鉱の町だったが、IEM(インテル・エクストリーム・マスターズ)を誘致したことで、今では毎年ファンが世界中から訪れるイベントへと成長しています。韓国では、ソウル市の主導の下、外国人観光客向けeスポーツ観光ツアーを定期開催し、韓国最大級のeスポーツ常設競技場や韓国の人気プロゲーマーなどを紹介し観光商品化しています。アメリカについては、チャリティの推進で、献血の啓発活動と合わせた取り組みもしています。周辺市場・産業への経済効果が見込まれるほか、経済効果を超えた社会的意義を内包する要素があります。ダイバーシティを実現する多様性が着目され、さまざまな取り組みに活用シーンが広がっています。企業への広がりにはビジネスマッチング、学校への広がりにはICT人材育成、福祉への広がりには健康増進・福祉の充実、医療への広がりでは認知予防、国際交流への広がりには外国語学習・グローバル人材育成、地域活性化への広がり、観光資源としてもeスポーツは利用できます。まとめになりますが、eスポーツの国内の人口推移は、3年後には1,400万人になりどんどん増えていく傾向です。市場推移は、2025年、国内700億円を目指す。プレイヤーも多様化していき、自治体・企業・リアルスポーツ・教育機関、また幅広い課題解決がeスポーツでは実現できるということです。医療福祉や観光振興等での活用シーンが広がります。eスポーツの関連の事例。各都道府県の自治体との連携があります。自治体が主体となってeスポーツを観光の目玉にしたり、地域イベントとして展開するというような取り組みがありま

す。市内高校のeスポーツ部創立支援や、国体に合わせ47都道府県によるeスポーツ選手権の開催などもあります。高齢者向けでは、フレイル予防の切り札にeスポーツを活用した実施効果検証を開始。健常から介護に行くのを遅らすために予防をしましょうというもののツールとしてeスポーツを活用しているということです。認知症を発生させないように記憶力のゲームとかのいろんなゲームがあります。障がい者向けでは、障がい者施設のなかにもeスポーツを実現でき

るカスタマイズしたツールを設置して、障がいのある方でも健常者と同じ土俵でエレクトロニックを使ったスポーツをできるということで、ずっとベッドに寝たきりではありません。eスポーツは、これまで話した通りどんどん進んでいます。NTT八重山でやったゲームでは、イスに座ってまだ床に足もつかない子供が真剣な眼差しでやっていました。時間の都合上、簡単ではありますが、eスポーツの概要となります。ありがとうございました。

～ 例 会 風 景 ～



地区委員への委嘱状交付 一年間宜しくお願い致します。



協議の総称であり、さまざまなジャンルに分かれた「競技種目」がある。

eスポーツ競技種目の例
代表的なゲームタイトル
「格闘」「スポーツ」「陣取り」
「戦略」「カード」「パズル」



- 本日のニコニコ:** ☆大浜勇人氏: 大田会員、卓話ありがとうございました。林会長、メイクアップありがとうございました。
 ☆前木繁孝氏: 大田さん!! 気になっていたeスポーツについて見識を深める事ができました。ありがとうございました。
 ☆橋本孝来氏: 大田さん、卓話ありがとうございます。 ☆宮城早人氏: 大田次男さん、卓話ありがとうございました。
 ☆東上里和広氏: 大田さん、卓話ありがとうございます。
 ☆松田新一郎氏: 大田さん、本日はありがとうございました。林会長ご来島ありがとうございました。
 ☆今西敦之氏: 那覇南ロータリー林会長ようこそおいでくださいました。ごゆっくりお過ごし下さい。
 ☆新川正人氏: 大田さん、卓話お疲れ様でした。 ☆垣本徳一氏: 大田さん、会員卓話ありがとうございます。
 ☆林秀一氏(那覇南 RC 会長): 大浜会長、そして皆様、よろしくお願ひします。

◆BOX ¥29,000(累計¥118,000) ◆コイン ¥0 (累計¥0) 合計 ¥118,000

